



OSD 設定説明書 NS-HD840VP

フルハイビジョンHD-SDI

ワンケーブル暗視カメラ



目次

1. 安全のための注意	-4
2. 免責事項	-4
3. 製品構成	-5
4. OSD 設定画面	-5
4-1 画面操作	-5
4-2 ENVIRONMENT	-6
4-3 露出	-6
4-4 WDR/DNR	-7
4-5 ホワイトバランス	-7
4-6 デイナイト	-8
4-7 モーション	-8
4-8 プライバシー	-9
4-9 オプション	-9-10
4-10 カメラ設定	-10
4-11 言語	-10
4-12 終了	-10

1. 安全のための注意

ご使用の前に、この『安全上のご注意』をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使い頂き、使用する方への危害や損害を未然に防止する為のものです。安全に関する重大な内容なので、必ず守ってください。

- 正規の電源を使用してください。指定された電圧を越えるもの (DC12V) を供給する電源にこの製品を接続すると製品に損傷を与えます。
- カメラ本体に金属などの異物を差し込むと感電する場合や火災になる危険があります。
- 濡れたままで、または埃をかぶった状態で使用しないでください。
製品は清潔で、乾燥している場所でお使いください。また濡れた手で本製品を扱うと感電する危険があります。
- 本製品の外部のケースを清掃するには、軽く湿らされた布を使用してください。溶剤は厳禁です。
- 製品が作動しない場合は故障も考えられます。異常な音やにおい又は煙の出る場合は直ちにコンセントからプラグを抜いて販売店にご連絡してください。
- 分解・改造などは故障の原因となり、また保証対象外となります。
- 製品は精密機械なので、強く落下したり、ぶついたりして破損しないよう注意深く扱ってください。
- 万一、通常の使い方での故障した場合は、直ちに使用を中止し、修理または交換のため販売店にご連絡ください。
- カメラは、埃の多いところ、高温多湿のところ、直接太陽光などの強い光が入るところでの使用は避けてください。

2. 免責事項

- 本製品で録画した映像は、個人として利用するほかは、著作権法上権利者に無断で利用できませんのでご注意ください。
- 雷、津波、地震、その他自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障および損傷が生じた場合、または弊社または弊社が許可した者以外が分解や改造した場合、または腐食や錆などによる外観の劣化の場合、原則として有償での修理とさせていただきます。
- 本製品の保証は、本書記載の内容をお守り頂かなかった場合、適用対象になりません。弊社では機器の故障、不具合、トラブルに対しての出張対応は行いません。修理、設定、などについては SENDBACK 方式にて対応させていただきます。

3. 製品構成

※別紙機器説明書参照願います。

4.OSD 設定画面

4-1 画面操作

- メニュー画面の設定は本体の設定ボタン（別紙参照）で操作します。
- 「決定ボタン」を押すと、画面上にメニュー画面が表示されます。
- メニュー画面上の文字が黄色となっている状態がカーソル表示項目となります。
- カーソルを移動させる場合は、「UP ボタン」「DOWN ボタン」を押してください。
- 設定項目や数値を変更する場合は、「LEFT ボタン」「RIGHT ボタン」を押してください。
- 項目を決定する場合は「SET ボタン」を押します。
-  アイコン」のある項目は次画面があります。「SET ボタン」で次画面へ移動します。
- 前画面に戻る場合は、カーソルを「戻る」へ移動させ「SET ボタン」を押します。
- 設定項目は、変更した時点で反映されます。画面を見ながら操作してください。

メニュー画面の構成は以下の通りです。設定を行う画面を選択し、設定項目を変更します。

ENVIRONMENT	USER
露出	
WDR/DNR	
ホワイトバランス	
デイ/ナイト	AUTO 
モーション	OFF
PRIVACY	OFF
オプション	
カメラ設定	
言語	日本語
終了	保存

- ENVIRONMENT --- 設置環境を設定します。
※以下はほぼ自動設定となります。
- 露出 --- シャッター速度などを調整します。
- WDR/DNR --- 逆光補正を調整します。
- ホワイトバランス --- ホワイトバランスを調整します。
- デイ/ナイト --- 昼夜の切替を調整します。
- モーション --- 動体検知表示について設定します。
- PRIVACY --- プライバシーマスクを設定します。
- オプション --- 出力形式について調整します。
- カメラ設定 --- カメラタイトルなどを設定します。
- 言語 --- 表示言語を選択します。
- 終了 --- 設定を終了して保存します。

4-2 ENVIRONMENT

設置環境に応じて多くの設定を自動的に調整します。屋外 / 屋内のみ選択しての仕様を推奨します。

INDOOR - - - - - 屋内使用時に選択します。多くの補正は自動的に行われます。

OUTDOOR - - - - - 屋外使用時に選択します。多くの補正は自動的に行われます。

USER - - - - - 露出やホワイトバランスなどを任意に調整できます。
USER 以外の選択では、露出などの設定項目は操作できません。

※他のモードは使用せず、上記 3 項目での使用を推奨します。

4-3 露出

シャッター速度やフリッカ低減などを行います。

明るさなどに関して調整を行います。設定の ON/OFF によっては操作が不要な部分もあります。

例：「シャッター」が「マニュアル」選択時には、電子感度アップが操作できません。

LENS - - - - - DC（初期値）で使用します。

輝度 - - - - - 画面全体の明るさを調整します。0 ~ 20 の間に設定できます。

モード - - - - - 使用環境によって「屋外 / 屋内」を選択します。4-2 の設定とあわせてください。

シャッター - - - - - シャッター速度を設定します。「AUTO」での使用を推奨します。
「マニュアル」を選択すると、シャッター速度を「1/25 ~ 1/60000」の間で瀬亭
できます。

FLK - - - - - 蛍光灯のフリッカ（50Hz 地域使用時）には「ON」に選択してください。

FREQ - - - - - 設置環境に合わせた数値を選択してください。

AGC - - - - - AGC の数値を調整します。

電子感度アップ - - - 低照度時の感度を向上させます。「0 ~ 10」の間で設定します。

SHARING - - - - - 輝度のムラに対して補正を行います。

4-4 WDR/DNR

逆光に対する補正を調整します。

撮影場所が逆光状態になっている場合に、WDR 機能や BLC 機能の「ON/OFF」と、光源の位置など設定が可能です。4-2 の項目が「USER」選択時のみ設定が可能となります。

モード - - - - - 逆光補正を「OFF/BLC/D-WDR/WDR」から選択します。

設置時の環境に合わせて選択してください。逆光の光源が特定されている場合では、詳細に設定できる「BLC」の選択を推奨します。

WDR_WGT - - - - WDR の補正強度を「0 ~ 4」の間で設定します。

BLC OSD - - - - - 逆光補正の光源位置の枠を、画面上に表示させます。「ON」に選択してください。

BLC 座標 -X - - - | 逆光補正の光源位置を数値によって選択します。「OSD」が「ON」になっている
BLC 座標 -Y | 状態で表示されている枠を、X 軸（横）Y 軸（縦）に移動させます。

BLC サイズ -X |

BLC サイズ -Y - |

水平位置 : 座標 X を「0 = 左端 ~ 20 = 右端」の間で移動します。

垂直位置 : 座標 Y を「0 = 上端 ~ 20 = 下端」の間で移動します。

水平サイズ : サイズ X を今の位置から右へ向ってサイズを大きくします。

垂直サイズ : 「0 ~ 20」の間で調整します。

: サイズ Y を今の位置から下へ向かってサイズを大きくします。

「0 ~ 20」の間で調整します。

※枠サイズは位置によっては 20 まで大きくできない場合があります。

DNR - - - - - デジタルノイズ除去機能を「ON/OFF」選択します。

HLC - - - - - 高輝度の部分を黒くマスキングします。「ON/OFF」選択します。

「SET」ボタンを押し、次画面でマスキング範囲のサイズ（レベル）と、マスクの色を選択できます。

4-5 ホワイトバランス

設置環境に応じて色味を調整します。

撮影場所における色味について調整します。「AUTO」での使用を推奨します。4-2 を「USER」に選択した場合に、「AUTO」以外の設定項目を操作できます。

AWB - - - - - 「AUTO」での使用を推奨します。必要に応じて「AUTO Ext./PUSH/ マニュアル」から選択します。

AUTO Ext. 使用しません。

PUSH 映像が表示されている時点で「SET」ボタンを押した瞬間の色味を基準として設定します。

マニュアル 映像の輝度や赤み、青みなど細かく調整できます。
必要に応じて、「SET」ボタンで次画面へ移動して設定します。

彩度 - - - - - 色の鮮やかさを「0 ~ 20（鮮明）」に設定します。

4-6 デイ/ナイト

昼/夜のモード切替について設定します。

「AUTO」での使用を推奨します。「4-2」を「USER」に選択した場合に、「AUTO」以外の設定項目を操作できます。設置環境に応じて、設定してください。

デイ＝常時カラー表示を行います。低照度時は残像が強くなり、暗視機能は OFF になります。

白黒＝常時白黒表示となり、低照度時は暗視機能が働きます。

遅延時間 - - - - - デイモードからナイトモードに切替わるまでの時間を「低（速い）～高（遅い）」に設定します。

SMART IR - - - - - スマート IR 機能を「OFF～低/中/高」に選択します。赤外線の影響が強く白とびが強い場合に中-高と設定してください。

4-7 モーション

カメラが映像内で動きを検知した際に、検知されたエリアを画面上に表示します。

動体検知（モーション）の警告は外部に出力されません。映像にのみ表示されます。

「ON」に選択し、「SET」ボタンを押して次画面に移動して、感度や検知エリアを設定します。

解像度 - - - - - 検知範囲を表示する枠の大きさを設定します。「0（細かい）～4（粗い）」の間で選択します。

感度 - - - - - 検知を判断する感度の大きさを設定します。「0（感度高）～20（感度低）」の間で設定します。

※設定中は検知情報が表示されませんので、一度保存してご確認ください。

ウィンドー - - - - - 「OFF」の場合は、検知範囲は画面全体となり、検知範囲が設定できません。

「ON」の場合は、検知範囲を制限し、検知範囲外にマスクをかけます。

※検知範囲の座標、サイズが設定できるようになります。

ウィンドー透明度 - - - 「ウィンドー」が「ON」の場合にかかるマスクの濃度を「0（透明）～6（濃）」の間で設定します。

X-座標 - - - - - 検知範囲の位置を設定します。座標は枠の左端の位置を基準に設定します。

「0（画面左端）～60（画面右端）」の間で設定します。

Y-座標 - - - - - 検知範囲の位置を設定します。座標は枠の上端の位置を基準に設定します。

「0（画面上端）～60（画面下端）」の間で設定します。

サイズ-X - - - - - 検知範囲のサイズを設定します。サイズは枠の左端から右端までの数値で大きさを

設定します。「0～60（画面右端）」の間で設定します。

サイズ-Y - - - - - 検知範囲のサイズを設定します。サイズは枠の上端から下端までの数値で大きさを

設定します。「0～60（画面下端）」の間で設定します。

4-8 PRIVACY

画面内にプライバシーマスクを表示します。

表示させたくない部分をマスキングします。「ON」を選択し、「SET」ボタンで次画面へ移動して設定します。

※初期値として設定されている18個のマスクを調整します。必要数のみサイズや位置を設定します。

領域選択 - - - - - マスクは同時に18箇所表示できます。「0～15」までのナンバーが振られており、
| 初期値として一定のサイズと位置が設定されています。数値を選択し、表示を
領域設定 - - - - - の「ON/OFF」を選択します。

X-座標 - - - - - 検知範囲の位置を設定します。座標は枠の左端の位置を基準に設定します。
「0（画面左端）～40（画面右端）」の間で設定します。

Y-座標 - - - - - 検知範囲の位置を設定します。座標は枠の上端の位置を基準に設定します。
「0（画面上端）～40（画面下端）」の間で設定します。

サイズ-X - - - - - 検知範囲のサイズを設定します。サイズは枠の左端から右端までの数値で大きさを
設定します。「0～40（画面右端）」の間で設定します。

サイズ-Y - - - - - 検知範囲のサイズを設定します。サイズは枠の上端から下端までの数値で大きさを
設定します。「0～40（画面下端）」の間で設定します。

カラー - - - - - マスクの色を選択します。

透明度 - - - - - マスクの透明度を設定します。「0（枠線のみ）～4（濃い）」の間で選択
できます。

4-9 オプション

カメラの映像出力について設定します。特別な設定のため、通常は操作せずに使用してください。

映像出力の方式や、左右反転などをおこないます。出力方式を変更すると、正常に映らなくなる場合があります
ですので、ご注意ください。

DE-FOG 使用しません。

D-OUT 範囲 映像出力の解像度、フレーム数を変更します。接続する機器に応じて変更しますが、
D-OUT 形式 初期値での使用を推奨します。

D-OUT フレーム数 1080P/30/25 720P/60/50 の選択が可能です。

カラーバー 使用しません。外部映像出力の映像を、カラーバーに変更します。

CVBS 変更せず使用します。

CVBS

輪郭補正 映像の輪郭を明瞭にします。「0～19（明瞭）」の間で設定します。

映像反転 映像を左右反転します。

回転 - - - - - 映像を上下反転します。

デジタルズーム - - - 撮影中の映像をデジタル処理により拡大します。「0（初期値）～96（最大）」の間で設定します。保存することで、拡大した画像で撮影します。
※デジタル処理のため解像度が上がったり望遠撮影にはなりません。

4-10 カメラ設定

カメラタイトルや通信規格について設定します。

必要に応じて設定してください。不要の場合は設定せずに使用してください。

タイトル - - - - - カメラ名を左下に表示します。0～9/A～Zの文字を、最大8字まで設定できます。

タイトル表示 - - - - - カメラ名表示を「ON/OFF」選択します。

バージョン - - - - - 機器のバージョン情報です。

GAMMA - - - - - ガンマ値を「0（初期値）～20（暗い）」の間で設定します。

通信 - - - - - RS-485 通信規格を設定します。ボーレート、プロトコルを制御機器に合わせて設定してください。

4-11 言語

日本語で使用します。

4-12 終了

設定を終了します。「SET」ボタンで設定を保存して終了します。設定を変更した際は、必ずこの操作を行ってください。

また、「RIGHT」ボタンで項目を「初期化」に変更することで、カメラ設定を工場出荷時に戻します。